

年間指導計画表

教科・科目	芸術・音楽Ⅲ	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科普通(文型) 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。
使用教科書・副教材等	音楽Ⅲ 教育出版 単元に応じてワークシートを配付

2 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨	評価方法	配分
a 音楽への関心・意欲・態度	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	観察 ワークシート	10%
b 音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート	20%
c 音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表現している。	実技テスト	60%
d 鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート	10%

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4 5 6	18	ふるさと 平城山	楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌う。	○	○	○	
			Nina	表現上の効果を生かして歌う。	○	○	○	
			Lacia ch'io pianga	音楽を形づくっている要素を知覚・感受し理解して歌う。	○	○	○	
			楽典&ソルフェージュ	音楽を形づくっている要素を正しくとらえる。	○	○	○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
前期	7 8 9	18	金比羅船々	リズムの特徴を感じながら楽器の音色を工夫して演奏する。	○	○	○	
			トゥーランドット	音楽の構造上の特徴とうつくしさとのかかわりを理解して鑑賞する。	○			○
			世界の音楽めぐり	諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞する。	○			○
			ブルースを使って創作	表現意図をもって個性豊かに音楽をつくる。	○	○	○	
後期	10 11 12	16	ピアノ演習	専門的な学習を通して、楽曲の表現内容を理解し、表現意図を明確にして創造的に表現する能力を養う。	○	○	○	○
			・ブルグミュラー ・インベンション 音楽史	我が国及び諸外国の音楽の歴史について理解を深め、多様な音楽の文化的価値をとらえる能力を養う。	○			○
後期	1 2	14	演奏研究	演奏における客観性と多様性を理解し、音楽の様式を尊重して演奏する能力を養う。	○	○	○	○
			音楽理論	基礎的な理論を理解し、表現と鑑賞に活用する能力を養う。	○	○		
			課題研究・発表	音楽や音楽文化を尊重する態度を養う。	○	○	○	○
【その他】 進路で音楽が必要な可能性がある人は必ず履修してください。 音楽関係の大学に進学を考えている人、入試に音楽の実技がある人は早めに教科担当者に相談してください。								

年間指導計画表

教科・科目	芸術・美術Ⅲ	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科・普通文型3年 普通科・国際コミュニケーションコース3年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。
使用教科書・副教材等	高校生の美術3(日本文教出版)・自主教材

2 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 美術への関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	観察 ワークシート 発表	40%
b. 美術表現の構想と工夫	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現を練っている。	観察 ワークシート 作品	20%
c. 創造的な美術表現の技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫、創造的に表している。	作品	30%
d. 鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。	観察 ワークシート 発表	10%

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4 5 6	2	オリエンテーション	美術Ⅲの目標を理解する。	○			
		8	素描1	基礎的な空間・質感表現の技術を高める。	○		○	
		8	素描2	応用的な空間・質感表現の技術を高める。	○		○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
前期	7 8 9	9	素描 3	多様な空間・質感表現の技術を高める。	○		○	
		9	色彩構成・静物画・人物画	・造形要素を理解し、色彩の生かし方を学習する。 ・色彩による空間的表現を学習する。	○	○	○	
後期	10 11 12	17	色彩構成・静物画・人物画	・主題を表現するために構図や色彩の生かし方を工夫する。	○	○	○	
		1	作品鑑賞	・作者の意図や表現の工夫を理解する。	○			○
	1 2	5	素描 4	・自分自身の素描表現を工夫する。 ・完成度を高める。	○	○	○	
		5	素描 5	・他者に伝わる素描表現を工夫する。 ・完成度をを高める。	○	○	○	
1		まとめ	美術Ⅰ、Ⅱ、Ⅲをふり帰り、磨いた美術の能力を確かめる。	○			○	
【その他】 最も基本的な表現活動である挨拶を大切にしてください。そして、自主的に美術館や画廊に出かけたり、身の回りのデザインに注目しましょう。また、美術系進学志望の人は、美術部を活用したり、美術担当教諭に相談してください。								

年間指導計画表

教科・科目	芸術・総合芸術	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科普通(文型) 第3学年 普通科国際コミュニケーションコース 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。
使用教科書・副教材等	単元に応じてワークシートを配付

2 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨	評価方法	配分
a 音楽への関心・意欲・態度	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	観察 ワークシート	10%
b 音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート	20%
c 音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表現している。	実技テスト	60%
d 鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート	10%

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4 5 6	18	コンコーネ	楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌う。	○	○	○	
			Nina	表現上の効果を生かして歌う。	○	○	○	
			コールユーブンゲン	音楽を形づくっている要素を知覚・感受し理解して歌う。	○	○	○	
			楽典&ソルフェージュ	音楽を形づくっている要素を正しくとらえる。	○	○	○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
前期	7 8 9	18	金比羅船々	リズムの特徴を感じながら楽器の音色を工夫して演奏する。	○	○	○	
			トウーランドット	音楽の構造上の特徴とうつくしさとのかかわりを理解して鑑賞する。	○			○
			世界の音楽めぐり	諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞する。	○			○
			ブルースを使って創作	表現意図をもって個性豊かに音楽をつくる。	○	○	○	
後期	10 11 12	16	ピアノ演習	専門的な学習を通して、楽曲の表現内容を理解し、表現意図を明確にして創造的に表現する能力を養う。	○	○	○	○
			・インベンション ・ベートーヴェンソナタ					
	音楽史	我が国及び諸外国の音楽の歴史について理解を深め、多様な音楽の文化的価値をとらえる能力を養う。	○			○		
後期	1 2	14	演奏研究	演奏における客観性と多様性を理解し、音楽の様式を尊重して演奏する能力を養う。	○	○	○	○
			音楽理論	基礎的な理論を理解し、表現と鑑賞に活用する能力を養う。	○	○		
			課題研究・発表	音楽や音楽文化を尊重する態度を養う。	○	○	○	○
【その他】 進路で音楽が必要な可能性がある人は必ず履修してください。 音楽関係の大学に進学を考えている人、入試に音楽の実技がある人は早めに教科担当者に相談してください。								

年間指導計画表

教科・科目	芸術・総合芸術	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科・普通文型3年 普通科・国際コミュニケーションコース3年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。
使用教科書・副教材等	・スーパー鉛筆デッサンわかりやすい基本の基本徹底ガイド(絵画技法研究会) ・自主教材

2 評価の観点及びその趣旨

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 美術への関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	観察 ワークシート 発表	40%
b. 美術表現の構想と工夫	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現を練っている。	観察 ワークシート 作品	20%
c. 創造的な美術表現の技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫、創造的に表している。	作品	30%
d. 鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。	観察 ワークシート 発表	10%

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4 5 6	2	オリエンテーション	美術Ⅲの目標を理解する。	○			
		8	素描1	基礎的な空間・質感表現の技術を高める。	○		○	
		8	素描2	構図を考え、空間・質感表現の技術を高める。	○		○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
前期	7 8 9	9	素描 3	応用的な空間・質感表現の技術を高める。	○		○	
		9	色彩構成・絵画	・造形要素を理解し、色彩の生かし方を学習する。 ・色彩による空間的表現を学習する。	○	○	○	
後期	10 11 12	9	構成と立体	・主題を表現するための構成を工夫する。	○	○	○	
		1	作品鑑賞	・作者の意図や表現の工夫を理解する。	○			○
		8	素描 4	多様な空間・質感表現の技術を高める。	○		○	
	1 2	5	素描 5	・自分自身の素描表現を工夫する。 ・完成度を高める。	○	○	○	
		5	素描 6	・他者に伝わる素描表現を工夫する。 ・完成度をを高める。	○	○	○	
	1 2	1	まとめ	総合芸術をふり帰り、磨いた美術の能力を確かめる。	○			○
【その他】 最も基本的な表現活動である挨拶を大切にしてください。そして、自主的に美術館や画廊に出かけたり、身の回りのデザインに注目しましょう。また、美術系進学志望の人は、美術部を活用したり、美術担当教諭に相談してください。								